



# 南高SSHだより

第14号  
H28.4.11  
新潟南高等学校  
SSH部発行

## 1学年 環境プレゼンテーションフェスティバル が開催されました！

- ☆目的：環境問題やエネルギー問題をテーマに探究学習を行い、プレゼンテーションを英語で行うことで、科学的諸課題に対する意識を高め、英語による資料作成や表現力向上を目指します。理数コースのみならず、1学年全員の科学、環境、英語に関する意識向上、表現力向上を目指します。
- ☆日時・場所：平成28年3月7日（月）9時50分～12時20分、本校第1体育館
- ☆参加者：1学年生徒全員、保護者（希望者）、本校職員
- ☆講師：新潟経営大学教授 市島 清貴 先生、同大学非常勤講師 フィニー ティモシー 先生
- ☆発表者：2人1組。1年理数コースから8ペア（16名）、1年1～8組から1ペアずつ8ペア（16名）、合計16ペア、32名。
- ☆発表内容・発表形式：パワーポイントで英語のスライドを作成し、それを使って、英語で環境に関するプレゼンテーションをしました。発表時間は1ペア5分。A4版1枚、英文、約500語とその和訳の要旨を作成し、参加者に当日配付しました。
- ☆司会進行：司会進行は、理数コースの生徒により、英語で行いました。
- ☆講評・評価：それぞれの発表後、講師より講評をいただき、成績優秀者は表彰されました。また、アンケート方式により、1年生徒全員、保護者から評価を受けました。

### ☆発表クラスと題（1-9理数コースは8ペア）

### ☆講師による評価結果

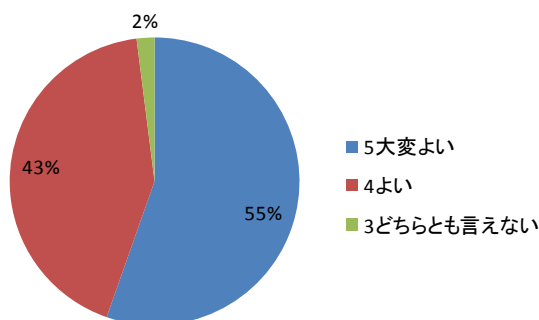
- |     |        |   |  |
|-----|--------|---|--|
| 前半1 | : 1-9① | The Garbage Problem                           |  |
|     | 2      | : 1-8   | The Environment of Education in Developing Countries |
|     | 3      | : 1-9②  | A New Problem Hiding in Water                        |
|     | 4      | : 1-7   | The Wonder above Us ..... 1位                         |
|     | 5      | : 1-9③  | The Energy Problem                                   |
|     | 6      | : 1-4   | Connection between Drinks and Concentration ..... 2位 |
|     | 7      | : 1-9④  | Global Warming                                       |
|     | 8      | : 1-3   | Our Lives Are Influenced by the Internet             |
| 後半1 | : 1-9⑤ | The Problems of Biological Diversity ..... 3位 |  |
|     | 2      | : 1-1   | How to Have a Good Sleep and a Good Dream            |
|     | 3      | : 1-9⑥  | Be an Activist Now                                   |
|     | 4      | : 1-2   | Sibling Relationships                                |
|     | 5      | : 1-9⑦  | Radiation  |
|     | 6      | : 1-6   | Sound Effects  |
|     | 7      | : 1-9⑧  | An Invisible Thing                                   |
|     | 8      | : 1-5   | The Influence of Sports on Our Lives                 |



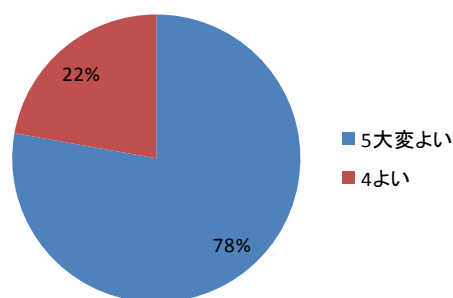
☆成果：理数コースの科学的な環境問題から、教育、きょうだい関係、飲み物や音楽など、幅広い話題が取り上げられました。発表の形式も、演台を前にして発表するものだけでなく、身ぶり手ぶりを使ったり、対話形式だったり、現物を持ってきて見せたりと、様々な工夫がありました。本番発表前の準備、練習にも熱心に、積極的に取り組む姿勢が見られました。今回の行事は、ほとんどの生徒、保護者から、「大変よい」、「よい」という、肯定的な評価をいただきました。また、多くの生徒から、「おもしろかった」、「英語をがんばろうと思った」、「英語でスピーチをする友達をすごいと思った」など、大変好評でした。

☆アンケート結果

環境プレゼンテーションフェスティバルをどう思うか  
【生徒】



環境プレゼンテーションフェスティバルをどう思うか  
【保護者(9名)】



☆生徒のアンケートより

- ・日々の授業で忘れていた「英語は楽しい」「学ぶことは楽しい」ということを思い出せるとてもよい機会だと思う。今後の英語学習のモチベーション up にもつながると思うので、ぜひ続けてほしい。
- ・自分と同じ歳で同じ授業を受けている仲間がすばらしい発表をしていて、おどろいた。こんな仲間がいると思うと、自分ももっと英語の勉強を頑張ろうと思った。
- ・聞いていておもしろかったものが何個かあって有意義な時間を過ごせた。始まる前は寝ないように気をつけようと思っていたが、寝るひまもないくらいおもしろかった。
- ・理数コースだけでなく普通科も参加のSSH活動ということもあり、今までとは違い新しい視点から環境について考えることができました。英語の発表はもちろん、どこを強調させるか、抑揚、動きや小物を使ってプレゼンをしているグループもあり、とても工夫されていて聞いている側もとても引き込まれるクオリティーの高いプレゼンでした。普通科は興味をひくテーマ設定とそれをいかに分かりやすく説明するかという工夫がみえてよかったです。また理数コースは「natural problem」というテーマが限定されながらもそれを補うスライドや英語の表現力がよく表れていてよかったです。そしてどちらにも共通して言えるのが、発表するときの堂々とした立ちふるまいがとても良かったということです。英語を話す上でそれはとても重要な上に、同じ発表でも声の大きさ、態度、立ちふるまいなどで大きく変わると思うので、どの発表もすばらしいものになったのだと思います。

